

## 『農』を柱に 三重・森本有志で新グループ 「まんぐるわ三重・森本」誕生

《まんぐるわ…「ぐるり・すべて」という意味の方言》

### 仲間募集

### 一緒にやろうよ 12月20日グループの説明会

#### 「農」を柱にした取組み

このたび三重と森本の有志でつくる野菜づくりグループ「まんぐるわ三重・森本」(代表 田崎由美子 会員 10人余り)を立ち上げました。両区で一緒に取組んだ府・市補助事業「里の人づくり事業」で培った力をもとに、安心安全な野菜づくりなど「農」を柱にした取組みを行っています。

#### 自分が楽しむ 気軽な集まり

今夏から始めたのが低農薬野菜や土づくりの勉強会。引き続き大阪天王寺の米屋さん(業者)との交流を通し自家菜園で作った野菜等の販売をしています。始まったばかりで会員間での思いも様々。今後の方向は相談しながら進めますが、まず自分自身が楽しむことを基本にして気軽に参加できる集まりにしていきたいです。

#### 両地区でグループの説明会開催

野菜づくりグループ「まんぐるわ三重・森本」では、一緒にやっていただける仲間を募っています。安心・安全な野菜づくりや地元の食材を使った加工食品開発、販売などに関心・興味のある人、ぜひグループ説明会に来てください。下表のとおり両地区でそれぞれ開きます。多くの皆さまのご参加お待ちしております。

お待ちしております  
説明会日時

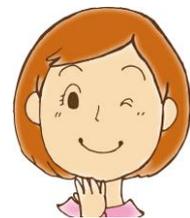
12月20日(火曜日)

三重生活改善センター	午後1時30分～
森本公民館	午後3時30分～

グループが目指すのは地域の元気づくりと活性化、そして楽しく暮らすこと。  
『農』を柱に、安心安全な野菜作りから販売、地の食材を使った加工食品開発など楽しみながら実践していきます。  
一緒に活動していただける人お待ちしております。

### タサキ

です



みなさんこんにちは。  
森本の田崎由美子です。  
三重・森本の豊かな自然の中にある畑を活用し、地域が元気になるようにと歩き始めた野菜づくりグループです。  
先輩がたに、野菜や加工品作りを教えてもらい、勉強会や話し合いを大切にプロ意識をもって進んでいきたいです。  
ご協力よろしくお願います。

# 楽しい元気な村にしたい

## いきがくれんけい 龍谷大学との「域学連携」の取り組み

### 5回の合宿 引き続き来年も

学生が持っている知識やマンパワーを三重と森本の活性化に生かそうと龍谷大学と「域学連携」の地域づくりを始めて2年目になります。

学生が地域で活動できるように市が設置した「京丹後市夢まち創り大学」（網野町旧郷小学校、市HP参照）の支援を受けています。昨年6月から5回の合宿で、1回が3~4日間で20~40人、公民館などで受け入れています。生物調査や水質調査などの研究で地域づくりの応援を受けるとともに、除草作業や空き缶拾いのボランティア活動等で交流を深めています。

これまでの主な取り組みをご報告し、これから（H29年度、5回程度）の取り組みに一層のご協力をお願いします。

#### 【これまでの取り組み】

- 生物調査（ため池、田んぼ、水路、川）
- 水質調査（水路、川の水質調査）
- 耕作放棄地の調査、地産地消調査
- 地域の勉強会、住民報告会、ボランティア活動

#### 【これからの取り組み】（予定）

- さらなる生物調査、水質調査・研究
- 調査結果を活かしたブランド米の開発
- 地区活動の手伝い、ボランティア活動
- その他 地域活性化の取り組み



網を手に生き物調査をする龍谷大学生（35人）  
（H27. 8. 21~24 森本の田んぼ）

域学連携・・・大学生が地域に入り、住民などと共に課題解決や地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化や人材育成に寄与する取組み。

### 森本公民館でこんにゃく作り

12月13日は三重生活改善センター

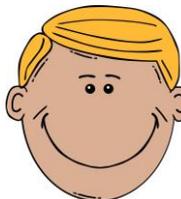


すりおろしたコンニャク芋を手でこねる参加者

野菜づくりグループ「まんぐるわ三重・森本」が中心になって11月29日、「こんにゃく作り」教室が森本公民館で開かれました。集まった8人は「愛情が詰まっている」「特産品に」などと言いながら手際よく調理を進めていました。

（写真上）

12月13日は三重生活改善センターで第2回目を行います。



ニッパ  
です

里力再生協議  
会代表の三重の新田良文です。  
12月1日、与謝・丹後地域の「命の里づくり交流会」が行われました。今年で8回目の開催。各地域から12団体の加工グループ160名が集まりました。  
三重・森本からは9名参加。会場に持ち込まれた加工食品は、地元の食材にこだわりの、それを生かしたものでした。来年は、三重・森本で作った加工品を紹介でき、活動の報告ができることを楽しみにしています。

ずらり並んだ各団体自慢の加工食品に見入る参加者（アグリセンター大宮、写真右）